



2026年8月13日

各位

会社名株式会社 パワーエックス

代表者名 取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕

(コード番号：485A 東証グロース市場)

問合せ先 執行役コーポレート領域管掌 CFO 藤田 利之

(TEL：03-4400-7296)

上場調達資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の執行役会において、2025年11月21日付「有価証券届出書」、2025年12月3日付及び2025年12月10日付「訂正有価証券届出書」に記載しておりました、2025年12月19日の新規上場により調達した資金の使途の一部を変更することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 変更の理由

当社は、上場時に受注残の積み上がりや今後予測される再生可能エネルギー市場の拡大に伴う蓄電池製品への需要増加に対応するため、また継続的なコスト競争力の向上を図るために、生産規模及び生産効率を最大化することを目的として、本社工場である Power Base 第1工場と同一敷地内に第2工場の建設を予定しておりましたが、建設資材の高騰や工期の長期化等により、検討が長期化しております。

当該状況の中、2026年3月23日付「本社工場への大型蓄電システム製造ライン増設に関するお知らせ」にて、本社工場において、資産の有効活用の観点から大型蓄電システム「Mega Power2500」の製造を行うべく、同システムの製造ライン増設等について公表させていただいております。

また、2026年3月23日付「北海道苫小牧市への新工場開設に関するお知らせ」にて、蓄電システムの十分な供給力を確保するとともに、製造拠点の分散による自然災害等へのレジリエンス強化ならびに完成品の輸送コストの最適化を図るため、新たに北海道における製造拠点として Power Base Hokkaido を開設することについて公表させていただいております。

さらに、弊社の売上高及び仕入が急増しているとともに、弊社主力製品である Mega Power シリーズの旧製品から新製品への切り替え時の旧製品部材の先行発注、リチウム、為替、中国による VAT（増値税）輸出還付の廃止等による価格変動リスクのあるモジュールの発注時期の柔軟性確保等、増加運転資金の確保が必要となっております。

これらを勘案し、新規上場により調達した資金使途について、第2工場建設から、以下の内容に変更いたします。

- ・ Power Base 第1工場の製造ライン増設資金
- ・ Power Base Hokkaido の開設資金
- ・ 増加運転資金

2. 変更の内容

充当予定の変更内容は以下のとおりであります。（変更箇所には下線を付しております。）

（変更前）

具体的な使途	金額	支出予定時期
PowerX Mega Power 2500 の開発資金	149 百万円	2026 年 12 月期
東京オフィス移転資金	921 百万円	2026 年 12 月期
<u>Power Base 第2工場建設資金</u>	<u>5,003 百万円</u>	<u>2026 年 12 月期～2027 年 12 月期</u>
合計	6,073 百万円	

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
PowerX Mega Power 2500 の開発資金	149 百万円	2026 年 12 月期
東京オフィス移転資金	921 百万円	2026 年 12 月期
Power Base 第 1 工場の製造ライン増設資金	500 百万円	2026 年 12 月期～2027 年 12 月期
Power Base Hokkaido の開設資金	1,500 百万円	2026 年 12 月期～2028 年 12 月期
増加運転資金	3,003 百万円	2026 年 12 月期～2027 年 12 月期
合計	6,073 百万円	

3. 今後の見通し

上記変更が 2026 年 12 月期の通期業績予想に与える影響は軽微であると考えますが、業績に与える影響について公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上